

ご留意事項

【1】セキュリティ対策について

(1) パスワードの厳重管理

- ・マスタID(管理者ID)でログインするとパブリックID(承認者IDまたは一般者ID)をいくつでも作成することが可能ですので、マスタID(管理者ID)のパスワードは管理者およびそれに準ずる方以外に知られないように注意してください。
- ・通常のご利用はパブリックID(承認者IDまたは一般者ID)によって行い、パスワードも厳重に管理してください。また、各パスワードは、生年月日、電話番号、連続番号など他人に類推されやすいものを避けるとともに、定期的に変更されることをお奨めします。

(2) セキュリティソフトの導入

お使いのパソコンにはウイルス対策ソフト、スパイウェア対策ソフト等を導入し、定義を最新に更新されるとともに、WindowsUpdateを定期的に適用するなど十分なセキュリティ対策を実施されることをお奨めします。

(3) 入出金明細の確認

口座の入出金明細や残高は、頻繁にご確認ください。身に覚えのない不審な取引が認められた場合は、直ちに当金庫までご連絡ください。

(4) 不特定多数の方が利用されるパソコンでの利用禁止

セキュリティ上、インターネットカフェ等の不特定多数の方が利用されるパソコンでのご利用はされないことをお奨めします。

(5) 通常使用する承認者IDまたは利用者IDの発行

- ・マスタIDとは別にパブリックID(承認者IDまたは一般者ID)を発行し、通常は作成したパブリックIDを使用し、マスタIDは使用しない運用にされることをお奨めします。
- ・担当者の方が変わられた場合などに、IDを発行し直すことでセキュリティが保てます。

(6) ブラウザの「戻る」ボタン等の利用禁止

取引の整合性を保つため、ブラウザの「戻る」「進む」「更新」「中止」ボタン等は使用しないようお願いいたします。使用しますと強制ログアウトされます。またサービス利用中に訳15分以上何も取引を行わない場合も、セキュリティを保つため、同様に強制ログアウトされますので、あらかじめご了承ください。

(7) 正常にログアウトできなかった場合の強制ログアウト

タイムアウト(約15分以上)や、ブラウザを強制終了させた場合など、ログアウトボタン以外で終了された場合は、次回ログイン時に一度強制ログアウト処理を行わないとログインできません。画面にしたがって強制ログアウトを行ってください。

- (8) パスワード誤入力によってパブリックIDがロックされた（閉塞した）場合
当初に利用申込書でお届けいただいた「お客様ID」（以降マスタIDといいます）にてログインし、管理機能メニューの「IDロック解除」によりロックを解除します。また、パスワードを失念された場合は、IDメンテナンスにより、新たにパスワードを設定します。

【2】操作等について

(1) WEB承認業務の必要性

お客様側で再度ご確認していただくために、振込（振替）データの登録を行っても、WEB承認を行わない限り、振込（振替）が行われることはありません（都度振込を除く）。期限内に承認作業をしていただくようお願いいたします。また、承認業務を行った後は、原則データの取消・訂正はできませんので、十分確認のうえ、承認をしていただきますようお願いいたします。

(2) 振込明細票の印刷

振込された明細票は、お客様自身で、「取引履歴照会」より印刷を行ってください。振込日から3ヵ月間印刷いただけますが、それ以降は明細を確認・印刷することができなくなりますので、あらかじめご了承ください。

(3) 金融機関名や支店名が変更になった場合

- ・金融機関が合併・統廃合等で振込（振替）先明細の金融機関名、支店名が変更となった場合は、登録いただいている振込（振替）先明細の金融機関名、支店名を自動で変更いたします。
- ・ただし、口座番号は変更されませんので、ご注意ください。
- ・登録済振込明細の金融機関名、支店名が変更となった場合は変更日以降使用された場合に明細エラーとなります。振込先メンテナンスメニューより該当振込先明細の変更または削除をお願いいたします。